

2019年12月期業績予想修正 説明資料

2020年1月24日

日本ペイントホールディングス株式会社

NIPPON PAINT HOLDINGS GROUP

1-1. Summary

- 買収したDuluxGroup社・Betek社の通期業績見通しが概ね確定
(売上収益630億円、営業利益84億円)
- PPAは当連結会計年度末に確定額を計上する見通し
(2019年度償却額約5億円見込)
- 中国建築用塗料事業は第4四半期も好調に推移
- 原材料価格が想定よりも低位で推移し収益に貢献
- 欧州およびインドにおいて、厳しい自動車市況のもと計画を保守的に見直す
(減損損失約110億円計上)

1-2. Summary

期初計画から売上収益を引き上げ、営業利益据え置き、当期利益は引き下げ

- ✓売上収益： 買収2社の連結子会社化や好調な中国の建築用塗料事業により、中国工業用塗料メーカーの株式取得中止の影響があったものの、通期計画を上方修正
- ✓営業利益： 上記増収効果や原材料価格が想定よりも低位で推移し収益の改善に貢献。一方、今後の厳しい自動車市況のもと、計画を保守的に見直した結果、減損損失を計上し、通期計画を据え置き
- ✓当期利益： 減損損失は税効果会計が適用されないため、通期計画を引き下げ

(億円)

	2019通期予想		期初計画比増減		主な増減内訳	
	期初計画	修正後	額	率	減損	新規連結影響
売上収益	6,400	6,940	540	8.4%	-	630
営業利益(減損損失を除く)	770	880	110	14.3%	-	79
営業利益	770	770	-	-	▲ 110	79
営業利益率	12.0%	11.1%	-	-	-	-
税引前利益	780	780	-	-	▲ 110	75
当期利益※	390	355	-35	-9.0%	▲ 90	55

※親会社の所有者に帰属する当期利益

※1中国元 = 15.8円、1米ドル = 109.2円、1豪ドル = 74.7円

2. 買収企業2社の業況およびPPA

買収2社の2019年業績は順調に推移
PPA(Purchase Price Allocation)に伴う償却対象資産は10～20年で償却予定

DuluxGroup社

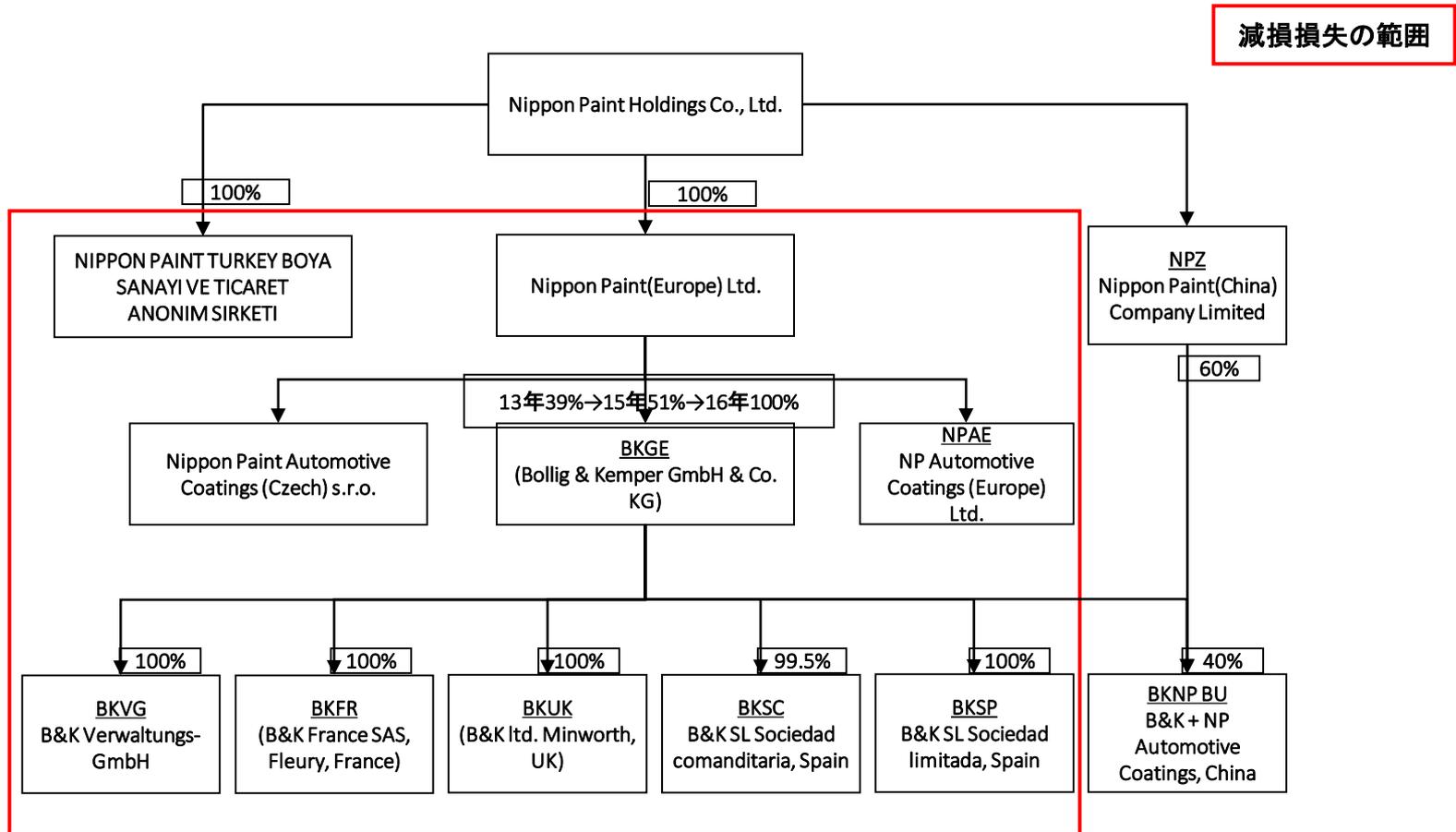
- ①2019年業績見込(4ヵ月)： 売上収益476億円、営業利益63億円
- ②償却対象額： 有形固定資産、無形固定資産における償却対象約260億円
- ③非償却対象額： 商標権、のれんにおける非償却対象約2,960億円
- ④年間償却額： 2019年約4億円、2020年約13億円

Betek Boya社

- ①2019年業績見込(6ヵ月)： 売上収益155億円、営業利益21億円
- ②償却対象額： 無形固定資産における償却対象約20億円
- ③非償却対象額： 商標権、のれんにおける非償却対象約56億円
- ④年間償却額： 2019年約1億円、2020年約1億円

3-1. 減損損失の内容(欧州自動車事業グループ①)

欧州自動車事業会社グループ概要



3-2. 減損損失の内容(欧州自動車事業グループ②)

主要な対象会社の概要

Bollig & Kemper GmbH & Co. KGグループ(B&K・従業員約300名)

- ・1919年 会社設立
- ・2008年 中国で当社グループと自動車用塗料販売の合併会社を設立
- ・2013年 当社がB&K株式を39%取得（2015年に51%まで追加取得）
- ・2016年 完全子会社化(日本ペイントHDグループ 100%出資)

減損額 : のれんや固定資産など約80億円

主な要因: 欧州自動車市場の低迷、市場ニーズへの即応不足による売上収益低下

今後の対策: ①顧客ニーズに適応した新製品開発

②主力製品の見直し

③マネジメントの刷新

④日本ペイントHDグループの人材派遣による技術支援 など

3-3. 減損損失の内容 (Berger Nippon Paint Automotive Coatings Private Limited)

対象会社の概要

Berger Nippon Paint Automotive Coatings Private Limited (BNPA・従業員約240名)

- ・2007年 インド塗料大手Berger Paint India Limited (BPIL) と自動車プラスチック用塗料の合併会社を設立
- ・2016年 インド国内のグループ他会社自動車用塗料部門、およびBPILの自動車用塗料部門の事業譲渡を受ける。BNPA設立

出資比率： 日本ペイントHDグループ 51% : BPIL 49%

減損額 : のれんや固定資産など約30億円

主な要因： インド自動車市場の低迷、現地調達や現地製造が計画より遅延

今後の対策：①現地調達や現地製造による製造コストの削減
②継続してシェア向上
③投資の絞り込み、経費削減 など

4. 2019年12月期 地域セグメント別トレンド

(億円)

		2019年12月期通期予想		
		期初計画	修正見通し	
日本	売上収益	1,842	Inline	自動車、汎用、工業用事業は想定通りに推移
	営業利益	274	Below	M&A費用22億円計上
アジア	売上収益	3,655	Below	中国汎用好調、株式取得中止、自動車市況の減速
	営業利益	475	Above	好調な中国汎用が自動車やインド減損等を補完
オセアニア	売上収益	-	Above	新規連結(DuluxGroup社)の影響
	営業利益	-	Above	新規連結(DuluxGroup社)の影響
米州	売上収益	769	Below	汎用・自動車事業ともに若干計画を下回る
	営業利益	58	Below	汎用・自動車事業ともに若干計画を下回る
その他	売上収益	134	Above	新規連結(Betek社)の影響
	営業利益	-4	Below	欧州減損損失約80億円の計上
合計	売上収益	6,400	6,940	
	営業利益 (減損損失除く)	770	880	
	営業利益	770	770	

※詳細は2月13日の決算発表で開示

- ✓ NIPSEA中国：好調な汎用事業(DIY、プロジェクト)、原材料価格が想定よりも低位で推移
- ✓ 新規連結2社：2社とも順調に推移
- ✓ 自動車事業：世界的な自動車生産台数の減少が各地域の自動車事業に影響



日本ペイントホールディングス株式会社

〈お問い合わせ先〉

日本ペイントホールディングス株式会社 インベスターリレーション部

+81 (0)6-6455-9140

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。